

北海道地域福祉学会ニュースNo.5

1997年5月1日発行 / 編集・発行 北海道地域福祉学会編集委員会

日本地域福祉学会第11回大会が6月に開催

日本地域福祉学会の第11回大会が、米軍基地の問題で揺れる沖縄県で6月7日・8日の両日にわたって開催されます。テーマは「分権化と地域福祉～地域福祉の原点を求めて」で、戦前までは本土から差別され、戦後は本土と米軍の二重の差別と抑圧の中で豊かな共同性を育み、そして脈々と今に伝える沖縄こそ地域福祉の原点を語る場にふさわしいところはないでしょう。ぜひ、多くの会員が参加して、沖縄の現状を知り、そして全国の研究と実践を共有することができるこの機会を活用してください。

と き 1997年6月7日(土)・8日(日)

ところ 沖縄県・沖縄市

内 容 7日 10時00分～12時00分 開会・基調講演・記念講演
13時00分～16時00分 シンポジウム
16時00分～17時00分 総会
8日 9時00分～12時00分 自由研究発表
12時45分～13時30分 ブロック会議
13時30分～15時30分 ミニシンポ

シンポ等のテーマ

記念講演 「分権化と沖縄市の地域福祉」 新川 秀清(沖縄市長)
シンポジウム 「分権化と地域福祉～地域福祉の原点を求めて」
ミニシンポ 「事業型社協のあり方と公的介護保険制度導入との関わり」
「離島・過疎と地域福祉との関連を考える」
「重度障害者の地域自立生活支援システムを考える」

参加費と申し込み先

参加費 会員・一般 6,000円

申し込み先 南星ツーリスト(株) 中部支店「日本地域福祉学会係」

〒904 沖縄市園田3-7-29

TEL 098-867-1441 FAX 098-932-1813

「北海道地域福祉研究」の投稿を募集！

北海道地域福祉学会編集委員会では、97年版「北海道地域福祉研究」の編集にあたり、投稿を募集します。下記の投稿規程をもとに7月31日までに投稿下さいますようお願いいたします。なお、投稿を予定される方は、5月末までに投稿テーマと氏名を事務局まで電話かファックス、葉書等でご連絡下さい。投稿の内容は、研究論文、実践報告、課題提起等地域福祉に関係することを中心にご検討ください。ぜひ、多くの方の投稿をお待ちしています。

北海道地域福祉学会誌「北海道地域福祉研究」編集・投稿規程

1. 本誌は、北海道地域福祉学会の機関誌であって、年1回発行する。
2. 本誌は、原則として会員の地域福祉関係の研究発表に当てる。
3. 本誌に、論文・研究ノート、資料、書評、その他の欄を設ける。
4. 本誌の編集は、編集委員会によって行われ、原稿の掲載は編集委員会が決定する。
5. 掲載する原稿には、投稿原稿と編集委員会からの依頼原稿がある。
6. 投稿者（複数の著者がいる場合は筆頭著者）は、本会員でなければならない。
7. 投稿論文は、査読に基づく審査により、編集委員会が採否を決定する。
8. 原稿は、別途定める執筆要領に従うものとする。
9. 執筆要領に定められた字数等の制限を超えた場合には、審査の有無にかかわらず編集委員会から修正を求めることができる。
10. 投稿者は、編集委員会事務局に原稿のコピーを3部送付するものとする。投稿原稿は、原則として返却しない。
11. 著者校正は、1回とする。
12. 掲載論文については、掲載誌2部を進呈しますが、抜き刷り（別刷り）を希望する場合は、執筆者の実費負担とする。
13. 投稿の締切りは、毎年1月末とする。

北海道地域福祉学会誌「北海道地域福祉研究」執筆要領

1. 本誌に発表する論文等は、いずれも他に未発表のものに限る。
2. 論文は、図表文を含めて16,000字（400字原稿用紙40枚）以内とする。
図表は、便宜上、一葉400字とする。写真を使用する場合は、モノクロを原則とし、手札サイズ（8×10cm）以上の紙焼きとする。
3. 書評及び文献紹介は依頼原稿とし、800字から6,000字（400字原稿用紙2枚から15枚）程度の範囲で編集委員会が依頼する際に指定する。
4. 研究ノートその他には、研究上の問題提起、内外の動向、研究プロジェクトの経過報告、他の著書・論文への批判・反論等を含み、8,000字（400字原稿用紙20枚）以内とする。
5. 原稿は、横書きとし、A4判用紙に40字×30行で印字したワープロ原稿（パソコンでも可）が望ましい。ワープロ原稿の場合は、原稿のコピーに使用したワープロの機種を明記して、フロッピーもあわせて添付すること。なお、MS・DO

Sテキストファイルでもかまわない。

6. 文体は、口語調の「である調」、文字は新かなづかい、当用漢字を原則とする。
7. 論文の構成は、タイトル、執筆者名、本文、注、文献の順とする。
8. 本文中の見出しは、以下のように統一する。
 1. 2. 3.「章」に相当
 - (1) (2) (3)「節」に相当
 -「項」に相当
9. 本文中の注番号は、該当箇所の右肩に . . . で表示する。
10. 引用文献は、本文の該当箇所に【執筆者名（姓のみ、共著・編著の場合は1名のみ記載して「〇〇他」とする）、西暦発行年：引用ページ】を示し、タイトル等は後の「文献」のところに一括して表示する。

【例】[山田, 1989: 22] [Bledy, 1990: 訳書1-25]
11. 「文献」は、著者名のアルファベット順に、次のことを表示する。
 - ・著者名（外国人の場合も姓を最初に）
 - ・西暦発行年
 - ・タイトル
 - ・掲載誌名（通巻番号）
 - ・出版社名
 - ・掲載ページ
12. 図表番号は、「図-1」「表-1」のように示し、それぞれ通し番号とする。
13. 図表タイトルは、図表の上に付ける。
14. 図表を他の著作物から引用する場合には、出典を図表の下に明記し、必要に応じて原著者または著作権所有者からの使用許可を得ておくこと。
15. 図表は、一葉ごとに台紙に貼り、それぞれの挿入箇所は原稿の左余白に赤字で指示する。
16. 原稿には表紙を付け、・タイトル、・執筆者名、・執筆者肩書、・連絡先（住所と電話番号）を記入する。
17. 文末に論文のキーワードを5語以内で入れる。

投稿の締め切りは、7月末です。

投稿のエントリーは、5月末までに

連絡先	北海道地域福祉学会事務局 060 札幌市中央区北2条西7丁目道民活動センター10階 北海道社会福祉協議会企画情報部 林 Tel 011-271-1944 fax 011-271-1977
-----	--

北海道地域福祉学会の会員が出した本を紹介します

自立・人間復権の福祉を求めて

著者 忍 博次 出版社 筒井書房 B6判200頁 定価2,100円(消費税別)

本学会の会長である忍 博次先生の1990年代初頭からいままでの福祉改革の時代を念頭においた発言集です。それは、「この10年の福祉の思想は障害をもつ当事者によって衝撃を受けてきた」と本書で述べているように障害を持つ人々などの当事者の願いや運動から学び作り上げて来た忍先生の基本的な福祉観と改革への思いが明らかにされています。

本書は、忍先生がはしがきで「構えた論文よりも、自由に語りかける形の講演のほうが私の思想や福祉についての考え方が率直に表現されているように思う」と述べているように、一般向けに書いた小論文や講演とエッセイを中心の構成されています。

1980年代に出版された「偏見への断層—福祉を考える友へ」(筒井書房)とあわせてお読みくだされば我が国の福祉思想の流れと一貫した忍先生の福祉哲学が、より鮮明に理解されるでしょう。いずれも北海道社会福祉協議会総務部総務課で取扱っています。

コミュニティケアハンドブック

著者 バーバラ・メレディス 訳 杉岡直人ほか 出版社 ミネルヴァ書房

A5判200頁 定価 2,500円(消費税別)

本学会理事である杉岡 直人先生がイギリスにおいてコミュニティケアの調査に従事していたときに見出したもので1993年に発行されたものです。著者は、アメリカの大学を卒業後、イギリスに渡りロンドン・スクール・オブ・エコノミクスで学び、社会行政研究の修士号を取得。1987年から1994年までエイジコンサーン・イングランドで情報・政策担当専門員を努めた後、現在は全国消費者協議会の政策・企画担当主任専門員を努めている。本書は、イギリスで1万部発行され、行政官、教員、サービス供給組織関係者などに広く読まれ、教科書としても活用されています。本書の構成は、コミュニティケアとは何か(第1章)、コミュニティケアの系譜(第2章)、コミュニティケア計画(第3章)、アセスメントとケアマネジメント(第4章)、サービスの購入と契約(第5章)、不服申し立て手続き(第6章)、監査指導—ケアの質のチェックシステム(第7章)、ケア料金の支払い(第8章)、人権の尊重(第9章)からなっており、現在国会で審議されている公的介護保険の参考となる点が非常に多く、関係者の絶好の手引書です。北海道社会福祉協議会総務部総務課で取扱っています。

北海道地域福祉学会研究大会と総会のご案内

と き 1997年9月20日

ところ 道民活動センター10階 視聴覚室

内容等 詳細については、別途会員に通知するとともにニュースにてもご案内します

北海道地域福祉学会 〒060 札幌市中央区北2条西7丁目 道民活動センター10階

北海道社会福祉協議会企画情報部内 Tel. 011-241-3976 FAX 011-271-1977